

シンガポール日本商工会議所

MCI (P) NO.042/02/2023
Japanese Chamber of Commerce & Industry, Singapore
Website: <https://www.jcci.org.sg>



シンガポールにおける拠点設計と 人材戦略の再考

RHQをめぐる香港との争い

今年も残すところ1カ月あまり。シンガポールを拠点にしている皆様にとって、2023年はコロナ禍からの回復が進み、経済社会活動が完全に正常化したと言える年となったのではないのでしょうか？一方、シンガポールから遅れること約7カ月、今年4月にコロナ水際対策を緩和した長年のライバル香港では、人材の流出が問題となっています。香港統計局によると、2019年以降、香港に地域統括拠点（RHQ）を置くグローバル企業の本数は8.4%減少、それらグローバル企業の香港オフィスで働く従業員の数は30%も減少しています。この問題を背景に、香港政府は今年10月、「ヘッドクォーター・エコノミー」なる施策を発表し、香港に本社や事業部門を設置する企業の誘致を進めています。

人的資源の競争力はトップクラス

香港でRHQを閉鎖もしくは縮小したグローバル企業の多くは、シンガポールに拠点を移設しています。シンガポールが選ばれる理由の一つには、人材の競争力の高さが挙げられ、その証左は枚挙にいとまがありません。例えば、仏INSEADが今年11月に発表した調査報告では、シンガポールの人材の競争力はスイスに次いで世界2位（アジア他国では韓国が24位、日本が26位、中国が40位）となっているほか、英QSが発表した直近の世界大学ランキングでは、アジアの上位5校のうち、2校はシンガポールの大学です。

「シンガポール人材」を登用しているか？

世界トップクラスの人材を誇るシンガポールですが、

当地で活動する日系企業の中で「シンガポール人材」を最大限に活用できている企業は少数派とみています。中には、買収先企業のCEOに、日本への国費留学を経験した政府機関の出身者を採用しているケースなど、いわゆるエリート人材を重用している事例もあります。しかしながら、多くの日系企業では、管理職は日本人駐在員で占められ、優秀なシンガポール人の登用状況は妥当とは言えません。

国籍を問わない適材適所の実行が肝要

筆者の個人的な考察では、シンガポールやその他国籍を問わず、職務を全うする上で最適な経験値やリーダーシップを持った人材の登用が進んでいる企業が、さらに優秀な人材を魅了し、持続的な成長を実現しています。駐在員が跋扈する日系企業では、意欲が高い非日系人材を採用することが困難であることは言わずもがな、採用後にその意欲を維持させることは至難です。新年を機に、拠点設計や人材戦略の見直しをお考えの際は、ご相談を頂けると幸いです。



執筆者紹介

IGPIシンガポール ディレクター

山崎 良太 Ryota Yamazaki

マスク、カート・サーモン、

デロイト コンサルティングを経て現職。

2015年よりシンガポールを拠点として域内各国で小売、消費財、運輸分野を中心とする企業の新規市場参入、事業デューデリジェンス、PMI、オペレーション改善のプロジェクトに従事。横浜翠嵐高等学校、慶應義塾大学経済学部卒。シンガポールPR（永住者）

IGPIシンガポールについて

株式会社 経営共創基盤 Industrial Growth Platform, Inc. (IGPI) は東京に本社を置き、長期的・持続的な企業価値・事業価値の向上を目的とした『常駐協業(ハンズオン)型成長支援』を軸に、企業や事業の様々な発展段階における経営支援を実施しております。シンガポールでは2013年に設立以来、日本企業に加え、東南アジア各国の政府機関やスタートアップ企業など数多くのクライアントとの長期的な信頼関係を構築してまいりました。 [✉ info_singapore@igpi.co.jp](mailto:info_singapore@igpi.co.jp)

主な支援テーマ

- グローバル拡大
- 新規事業開発・オープンイノベーション
- 海外子会社の収益改善
- 地域統括拠点の機能強化
- 現地パートナーの探索・提携
- クロスボーダー M&A

2023年12月1日
シンガポール日本商工会議所
副会頭／広報委員会 委員長 土橋 健太郎

機関紙『月報』電子媒体一本化及び一般公開のご案内

平素は、弊所機関紙『月報』をご講読いただきまして、誠にありがとうございます。

この度『月報』は、2024年1月号より発行形態を紙及び電子媒体から、電子媒体一本化とさせていただくこととなりました。当該号より、紙媒体の発行は行われませんが、改めましてウェブサイト上で『月報』をご愛読頂けますと幸いです。なお、弊所メーリングリストから『月報』のURLが記載されたお知らせは、従来同様、送付させていただきます。また、これまで会員限定としておりました『月報』へのアクセスですが、同じく2024年1月号より、非会員の方にもご欄頂ける「一般公開」とさせていただきます。

電子化については、SDGsの観点からの紙資源削減への貢献のみならず、印刷、郵送などの工程数を減らすことで諸経費削減への取り組みとしても、この度実行させていただくこととなりました。ウェブサイト掲載への一本化を実施することにより、読者の皆さまが関心を持たれた記事、トピックの具体的な把握と分析が可能となり、広報委員会として更に多くの皆さまの興味にお応え出来る『月報』の編纂をさせていただく所存です。

これまで『月報』の閲覧にはログイン、パスワードの入力が必要でしたが、一般公開後は、ログイン、パスワード入力が必要なくなり、どなたでも閲覧が可能となります。会員の方には、よりアクセスがしやすくなり、非会員の方には、弊所の活動をより良く知っていただける媒体としてご覧いただけます。

電子媒体一本化は新しい取り組みとなりますが、引き続きご愛読を何卒よろしくお願い申し上げます。

記

概要：電子媒体一本化を通して、紙資源削減及び諸経費削減が可能となる。また、ウェブサイト掲載一本化及び一般公開とすることで、読者数の拡大とニーズを把握・分析し、より良い『月報』をお届けすることが可能となる。

開始月：2024年1月号より

※2023年12月号が、お手元に郵送させていただく最後の号となります。

以上

2023
DEC

月報

CONTENTS

<特集>

- 生成AIの登場とシンガポール及び日本のAIガバナンスに関する対応方針
—他の主要地域との比較を踏まえて— p3
MORI HAMADA & MATSUMOTO (SINGAPORE) LLP 小松 岳志/毛阪 大佑
- ASEAN財閥によるスタートアップ投資の現況と日系企業への示唆 p7
KPMG SERVICES PTE LTD 木村 昌吾
- Jリーグのアセアンにおける取組み p10
JAPAN PROFESSIONAL FOOTBALL LEAGUE 八幡 聖
- 松本山雅FCの取組み～フットボールがつなぐアセアンとの交流～ p12
MATSUMOTO YAMAGA CO, LTD 塩川 由貴

<着任のご挨拶>

- 着任のご挨拶 p14
JETRO SINGAPORE 木村 洋一

<活動報告・各種ご連絡>

- 理事会議事録 (2023年10月) p15
- 入会承認会員一覧 (2023年11月) p16
- 新規入会会員紹介/各種ご連絡 p17
- お詫びと訂正のお知らせ/Eメール送信サービスのご案内 p18
- JCCIイベント
- 10月 (基金) Japanese Film Festival 2023 /理事会 p19
第一工業部会主催講演会「ASEAN次世代自動車産業の動向と日本企業への影響」
- 10月 第一工業部会&貿易・運輸部会懇親ゴルフ p20
建設・不動産部会「鹿島建設シンガポール本社ビルThe GEAR」建物見学会
- 11月 生活産業部会「一風堂講演会」 p21
(基金) Singapore Disability Sports Awards 2023
- 2023年会員懇親パーティー p22
- 2023年会員懇親パーティー ラッキードロー・クイズ賞品ならびにドアギフトご提供一覧 p24
- 編集後記 p28

月報題字：麗扇会 青木 麗峰
表紙写真：NIKKEI GROUP ASIA 近藤 明日香
写真タイトル：Singapore's Showa

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way # 12-04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221-0541 Fax: 6225-6197 Website: <http://www.jcci.org.sg>

生成AIの登場とシンガポール及び日本のAIガバナンスに関する対応方針—他の主要地域との比較を踏まえて—

MORI HAMADA & MATSUMOTO (SINGAPORE) LLP
Co-representative Partner

小松 岳志

Senior Associate

毛阪 大佑



小松 岳志



毛阪 大佑

はじめに

2022年11月末のChatGPTの公表以降、AIの可能性とリスクの両面について、世界中で今までよりもさらに活発な議論が行われている。特に欧州では、ハードロー（法律）によるAIに関する横断的規制の導入が積極的に検討されているが、シンガポールや日本では、可能な限りソフトロー（政府や業界団体がガイドラインを示しつつ、企業等が自主的に遵守する方法）を中心としてAIガバナンスを促進することを目指しているという特徴がある。本稿では、シンガポールと日本によるAIに関するルール作りに向けた具体的な取り組みの共通点や近時の動きを中心に紹介する。既に生成AIを実際の業務の中での活用し始めている企業も多いと思われるので、本稿が、会員各社のAIガバナンスについての取り組みを振り返りつつ、同時に、世界的な議論の動向についても理解を深めいただくための一助となればと願っている。

シンガポールと日本のAIガバナンスに向けたこれまでの取り組み—ガイドラインの対比を通じて—

シンガポールでは、世界におけるAI産業の主要ハブの一つとなることを目指し、企業に対して実践的なAIガバナンスのモデルを示すことで自主的な取り組みを促すアプローチに基づき、2020年1月21日に「Model Artificial Intelligence Governance Framework Second Edition¹」（以下「シンガポールAIモデル」という）が策定・公表されている。他方で、日

本では、AI社会原則の実装に向けて、経済産業省から2021年7月9日に「我が国のAIガバナンスの在り方 ver. 1.1²」が、2021年1月28日に「AI原則実践のためのガバナンス・ガイドライン ver. 1.1³」（以下「経産省AIガイドライン」という）が策定・公表されている。

(1) シンガポールAIモデルと経産省AIガイドラインの主要な共通点

シンガポールAIモデルは、以下の主要な点において、経産省AIガイドラインと共通するアプローチを採用している。

- ① 法的拘束力がないガイドラインを示す文書である（AIを活用する企業向けに「任意の」モデルフレームワークを示すものであると明記されており、また、法令に基づくものでもない）。
- ② リスクベース・アプローチである（各所において、リスクの度合いに応じたアプローチを採用すべきとする）。
- ③ 説明可能性・透明性・公平性を重視している（高次の原則の第一として挙げられている）。
- ④ 人間中心原則を重視している（高次の原則の第二として挙げられている）。
- ⑤ 具体例の紹介を重視して、企業にすぐに使える実務的な情報を提供することを意識している（Mastercard、Grab、Facebookなどの事例が掲載されている）。

(2) 経産省AIガイドラインと比較した場合のシンガポールAIモデルの特徴

シンガポールAIモデルは、経営層に対して、まずはガバナンス体制の確保を促した上で、AIの実装における具体的なリスクコントロールの方法として人間の関与度合いをリスクに応じて異ならせるアプローチを示して、運用層レベルで確保がされるべき事項を示し、最後に、ステークホルダーとのコミュニケーションの重要性に触れる。これに対して、経産省AIガイドラインは、経営層に対して、自社におけるAI活用に関して、認識・評価すべき事項が何か、到達点として目指すべきものを明確にさせ、その目指すべきものと具体的な検討対象の差分の程度に応じた、適切な対応がとれるようなプロセス・体制を構築して、対外的な説明や事後的検証に耐えられるものにする継続的努力をすることを求める、という流れで構成されている。

要するに、このように対比した場合のシンガポールAIモデルの特徴は、特に、AIの実装における具体的なリスクコントロールの方法として人間の関与度合いをリスクに応じて異ならせるリスクベース・アプローチを示しているという点である。これは、活用対象のAIによってもたらされる負のインパクト（harm）をその深刻度と発生確率の二つによって分類して、それに応じて、人間が関与する度合い（①AIに完全に委ねる、②AIのアウトプットを人間が常に確認・承認する、③AIのアウトプットを人間が原則監視しつつ必要に応じて修正する）を決定するという方法である。シンガポールAIモデルではこのようなりスペース・アプローチに基づくAIの活用方法が、具体的な事例を参照しながら多数示されている。

もう一つのAIを適切に活用するためのポイントは、AIによる自動学習のベースとなるデータセットの適切さの確保である。AIのアルゴリズム自体が適切に設計されていても、データセットの選定過程において、たとえば人種や性別等に基づく偏見（バイアス）があると、AIのアウトプットも偏ったものとなる。特に、AIを用いたサービスを国際的に展開する際や、人種や民族的多様性が高い地域で展開する際には、倫理・法令遵守の双方の観点から

特にセンシティブな問題となる。運用レベルで主に確保されるべき問題ではあるが、シンガポールAIモデルでは、選択における偏見（Selection bias）や測定における偏見（Measurement bias）などの例を示しながら、相当の分量をこの点に割いている（文化的多様性が高いシンガポールの環境も多分に反映している）。

さらに、シンガポールAIモデルでは、米国における差別的採用を禁止する法令や基準にも準拠した形で厳格にデータセットを管理することで、AIを用いた従業員の採用プロセス支援を行っている企業が、どのように意図せぬ偏見をデータセットから排除するように努めているかを紹介している。

上記のように、具体性の高さと、国際的な環境の中でもすぐに実務に適用できる方策を示すことを目指している点が、シンガポールAIモデルの特徴といえる。

シンガポールの生成AIガバナンスに関する近時の動き

シンガポールでは、本稿の執筆時点においてもAIに特化した法律は制定されておらず、ソフトウェアによる自主的なAIガバナンスの実現を企図している点に変わりはない。

2023年6月7日、シンガポール情報通信メディア開発局（IMDA）は、AIの信頼性を検証するためのAIガバナンス・テスト・フレームワークとソフトウェアツールキットであるAI Verifyを開発するとともに、AIの責任ある利用を推進し、世界中の企業や規制当局のニーズをに満たすための団体として、AI Verify Foundationの設立を公表した。AI Verifyは、ユーザー企業の環境内で動作する単一の統合ソフトウェアツールキットであり、ユーザーのAIモデルに対する技術テストの実施とプロセスチェックの記録を容易にする。ユーザー企業は、得られたテスト・レポートを株主・ステークホルダーと共有することで、自社のAIについてより透明性を高めることができる。

また、同じ2023年6月7日に、IMDAとAicadiumは、信頼され、責任ある生成AIを導入したエコシステムを構築するための政府対応の枠組みを示す

「Generative AI: Implications for trust and governance⁴」と題するディスカッション・ペーパーを公表した。このディスカッション・ペーパーでは、生成AIのもたらす具体的なリスクとして、①事実誤認と誤解を招く出力（ハルシネーション）、②個人情報保護と秘密保持、③偽情報やサイバー危機、④著作権侵害、⑤差別、⑥倫理の統一、という6つのリスクを指摘した上で、実践的なリスクベース・アプローチが、信頼性と安全性の向上に貢献すると述べている。

このほか、個人情報保護の分野では、個人情報保護委員会（PDPC）が、2023年7月18日、「Public Consultation for the Proposed Advisory Guidelines on Use of Personal Data in AI Recommendation and Decision Systems⁵」と題するガイドライン案を公表し、意見公募が行われている。また、著作権の分野では、2021年の時点でAI学習のための著作物の使用を容易にする法改正が行われており、さらに、金融の分野でも、シンガポール金融管理局（MAS）が、金融機関によるAIの責任ある利用のため、公正性・倫理性・説明責任・透明性（FEAT）原則の評価手法を詳述した5つのホワイトペーパーを公表している⁶。

日本の生成AIガバナンスに関する近時の動き

日本においても、本稿の執筆時点で、AIに特化した法律は制定されていないが、2023年5月に広島で行われたG7広島サミットにおいて、AIをめぐる規制や活用に向けたルール作りを議論する新たな枠組み「広島AIプロセス」を設けることで合意し、議長国として議論をリードしていく動きを見せている。

内閣府AI戦略会議では、広島AIプロセスでの日本提案に関して継続的に議論が進められているほか、2023年9月8日の第5回会合では、「新AI事業者ガイドライン スケルトン（案）⁷」を策定し、公表している。これは、新AI事業者ガイドラインに関する議論・検討過程の透明性を高めるために、現在議論・検討中であるガイドラインの項目立て及び記載内容案の概要を示すものである。大項目は以下のとおりであり、末尾にチェックリストが付けられ

る構成が想定されていることが窺われるが、現状具体的な内容の公表には至っていない。

- | | |
|-----|------------------------|
| 第1部 | AIとは |
| 第2部 | AI開発から運用・利用にあたってのガバナンス |
| 第3部 | AIのアルゴリズム開発者向け |
| 第4部 | AIの学習実施者向け |
| 第5部 | AIシステム・サービス実装者向け |
| 第6部 | AIを活用したサービス実施者向け |
| 第7部 | 業務でAIを利用する者向け |
| 別紙 | 契約上の留意事項・チェックリスト |

このほか、個人情報保護委員会は、2023年6月2日、「生成AIサービスの利用に関する注意喚起等について⁸」と題する文書を公表した。これは、生成AIの利用に際しての個人情報保護法上の留意点を示すとともに、個人情報保護委員会がChatGPTを提供するOpenAIに対して行った注意喚起の概要をまとめたものである。

世界の中でシンガポール・日本の果たすことができる役割

2023年10月9日に京都市で実施されたインターネット・ガバナンス・フォーラム（IGF）2023に出席した岸田首相は、生成AIのポテンシャルとリスクを踏まえながら、推進と規制のバランスを図り、生成AIが経済社会に与えるリスクを軽減しつつ、人類に対する恩恵を最大化していくことを目標として、広島AIプロセスにおいて、年末までに国際的な指針を策定すると発言した⁹。そして、2023年10月30日、G7首脳は、広島AIプロセスに関して、G7首脳声明を発出するとともに、「高度なAIシステムを開発する組織向けの広島プロセス国際指針」及び「高度なAIシステムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範」を公表した¹⁰。

各国・各地域ごとの動きをみると、世界の他地域と比較した場合に、シンガポールと日本のアプローチは比較的近似していると考えられるが、全体的にはシンガポールのルール作りの方が、個別具体性・実践性の観点から一歩検討が進んでいる。他方で、

AIについては、AIを熟知する起業家や専門家・学者からも適切な規制を求める声が挙げられており、欧州においては、欧州委員会が2021年4月21日に策定・公表したAI規則案が2023年6月14日に欧州議会において採択されるなど、欧州委員会主導でAIに関する横断的な法規制案の検討が進められている。また、米国においては、人事採用の場面でのAIの活用等、センシティブ性の高い分野を中心に法規制化の動きが連邦・各州の両方のレベルでみられたが、2023年10月30日には、法的拘束力を有する連邦レベルの規制として初めて、AIの安全性の確保や技術革新を図るための大統領令（Executive Order on the Safe, Secure, and Trustworthy Development and Use of Artificial Intelligence¹¹）が発令された。この米国の大統領令は、企業への罰則の導入を見送るなど、厳格な罰則を設ける方向性の欧州のルール作りと比較して、企業活動への配慮が窺われる内容となっている。このような欧州・米国のルールの相違からも分かるように、現状AIに関する国際的な標準ルールの確立には至っていない。

そのような中で、日本とシンガポールの試みは、上記のとおり、イノベーションと規制のバランスを最大限実現していこうという方向性で一致しており、両国のIT分野での存在感も踏まえて、今後の世界の中でのAIに関するルール作りにおいて一定のインパクトを有し得る。これからの人類にとっての一大テーマとなっているこの重要イシューについて、我々が事業活動を行うシンガポールと日本の両国がともにどのような貢献を果たしていけるか、今後も注目していきたい。

<訳注>

- 1 <https://www.pdpc.gov.sg/-/media/Files/PDPC/PDF-Files/Resource-for-Organisation/AI/SGModelAIGovFramework2.pdf>
- 2 https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ai_shakai_jisso/pdf/20210709_1.pdf
- 3 https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ai_shakai_jisso/pdf/20220128_1.pdf
- 4 https://aiverifyfoundation.sg/downloads/Discussion_Paper.pdf
- 5 <https://www.pdpc.gov.sg/-/media/Files/PDPC/PDF-Files/Legislation-and-Guidelines/Public-Consult-on-Proposed-AG-on-Use-of-PD-in-AI-Recommendation-and-Systems-2023-07-18-Draft-Cover-Note.pdf>

- 6 <https://www.mas.gov.sg/news/media-releases/2022/mas-led-industry-consortium-publishes-assessment-methodologies-for-responsible-use-of-ai-by-financial-institutions>
- 7 https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_senryaku/5kai/gaidorain.pdf
- 8 https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_team/6kai/shiryouchuikanki.pdf
- 9 https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202310/09igf_ai.html
- 10 https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page5_000483.html
- 11 <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/presidential-actions/2023/10/30/executive-order-on-the-safe-secure-and-trustworthy-development-and-use-of-artificial-intelligence/>

執筆者氏名

小松 岳志（こまつ たけし）

経歴

高知県生まれ。1999年京都大学法学部卒業。2005年シカゴ大学ロースクールLLMプログラム卒業。2012年1月に森・濱田松本法律事務所シンガポールオフィスを開設し、それ以来、同オフィス共同代表パートナー弁護士として、シンガポールを拠点に東南アジア・南アジア一円における日系企業のM&A・ガバナンス・テクノロジー投資案件にアドバイスを提供している。日本国弁護士・米国ニューヨーク州弁護士・シンガポール法弁護士（FPC）の資格を有する。

takeshi.komatsu@mhm-global.com

執筆者氏名

毛阪 大佑（もさか だいすけ）

経歴

大阪府生まれ。2013年京都大学法学部卒業。2015年京都大学法科大学院修了。2020年4月～2022年3月丸紅株式会社法務部に出向し、企業法務に従事。2022年10月から森・濱田松本法律事務所シンガポールオフィスにて執務。M&A・スタートアップ投資を中心業務としつつ、データ保護やテクノロジー関連の業務にも積極的に取り組む。日本国弁護士・シンガポール外国法弁護士登録。

daisuke.mosaka@mhm-global.com

ASEAN財閥によるスタートアップ投資の 現況と日系企業への示唆

KPMG SERVICES PTE LTD
Director
木村 昌吾



ASEAN各国では、毎日のように多くのスタートアップ企業が創業されています。ASEANでスタートアップ企業が生まれる背景として、各国に溢れる社会課題があります。例えば、インドネシアやベトナムなどでは、銀行口座を保有していない人の割合がそれぞれ51%、69%と非常に高くなっています(注1)。銀行口座がない以上、クレジットカードを持つことはできませんし、ローンを組んで車や家を購入することもできません。しかし銀行口座を保有していない人でも、スマートフォンは所持しているのが現代ASEANの特徴です。ASEANは元々データプアなエリアでしたが、域内約7億人の人口が一斉にスマートフォンを持ったことで、いきなりデータリッチな環境整備がなされたのです。そのような状況下、銀行ではないソースからスマートフォンを用いて資金を融通する仕組み(P2Pレンディング)にて、銀行口座を持たない人の資金ニーズに応えようとするスタートアップが登場してくるのです。

時価総額が10億ドルを超えるスタートアップ企業はユニコーンと呼ばれますが、シンガポールやインドネシアを中心に、ASEAN全体で30社近いユニコーンが誕生しています。またASEANを代表するスタートアップ企業であるGrabなどは、ユニコーンに成長した後にニューヨーク上場を果たすなど、世界規模の大企業に成長しています。Grabにおける配車アプリの着想は、創業者のアンソニー・タン氏が留学先のアメリカからマレーシアに帰国した際、タクシー事情のあまりの悪さに辟易したからと言われています。このように、社会における不便・不利益が新しい事業への着想を生むのです。物流、

医療、教育など課題を抱えるセクターは多々存在し、また社会全体のサステナビリティや脱炭素化の実現のためには全産業で一層のイノベーションが求められています。そしてこのようなニーズやウォンツが、明日のスタートアップ企業におけるビジネスシードになるのです。

さてASEANには多くの財閥が存在しますが、近時、彼らもベンチャーキャピタルを立ち上げて積極的にスタートアップ投資を行っています。インドネシア・リッポグループのベンチュラキャピタル、フィリピン・アヤラグループのキックスタートベンチャーズ、そしてタイのサイアムセメントのアドベンチャーズなどはその典型です。そして、非常に重要なこととして、このようなスタートアップ投資を率いているのは、財閥ファミリーの若い世代なのです。財閥というと、サリムグループ総帥のアンソニー・サリム氏やCPグループ会長のタニン・シャラワノン氏のようなタイクーンと呼ばれるカリスマ的経営者が率いているイメージがありますが、多くの財閥では、次世代へのトランジションが発生しています。ファミリーの若い世代がグループのコア事業の要職に就き、また同時にASEANで活況となっているスタートアップ投資にも積極的に関与しているのです。

テクノロジーの理解とスタートアップ企業を評価する目利き力は、現代のビジネスにおいて非常に重要な経営能力と言えます。一部の財閥では、ファミリーメンバーから既にそのような人材輩出がなされているのは特筆すべき事と言えます。財閥においては、プランテーション、マイニング、発電、セメン

財閥名	VC名	概要	特筆事項
Lippo グループ (インドネシア)	Venturra Capital	2015 年に設立。E-コマース、教育、ヘルスケア、フィンテック分野などへの投資に注力	Riady ファミリー第三世代の John 氏(38 歳)が ファウンダー
Sinar Mas グループ (インドネシア)	SinarMas Digital Ventures	2014 年に設立。テクノロジー企業を中心とした投資を行う	Widjaja ファミリーの第三世代の Jesslyne 氏 (42 歳) が経営に関与
Sinar Mas グループ (インドネシア)	LivingLav Ventures	デジタルエコシステムの開発を行うスタートアップへ投資する目的で 2022 年に設立。投資ポートフォリオは不動産テック系が中心	不動産事業の Sinar Mas Land が運営する コーポレートベンチャーキャピタル (CVC)
Ayala グループ (フィリピン)	Kick Start Ventures	2012 年設立。アヤラグループが出資するグローバルテレコム傘下のベンチャーキャピタル。フィンテック、ヘルステック、E-コマース、エドテックの投資などに注力	Ayala コーポレーションの Head of Business Development and Innovation を務める Alfonso 氏 (38 歳) が投資コミティーメンバー を務める

表1：財閥傘下の代表的なベンチャーキャピタル (VC) とその概要

ト、不動産など従来型の産業を多く抱え、それらのサステナビリティの確立が課題になっています。ベンチャーキャピタル事業を通してスタートアップ投資を主導しつつ、グループのテクノロジー担当として「これは」と思えるイノベーションをグループ内に取り込んで共に成長を図る。このようなASEANにおけるスタートアップ&サステナビリティ・エコシステムにおいて財閥が果たす役割は今後益々大きくなるものと思われ、それを主導する財閥の次世代は、5年後、10年後には間違いなくグループCEOに上り詰めるような人材なのです。

さてM&Aアドバイザー会社に勤務する筆者の元には、多くの日系企業からスタートアップ投資に関する照会が寄せられます。その問い合わせのほとんどが、「何かいい投資先があれば紹介して欲しい」というものです。デジタル経済の推進者として、また社会のサステナビリティ維持に必要なイノベーションの提供者として、有力なスタートアップ企業を見出してそこに投資をしようというアベタイトは非常に大きいものがあります。

しかし事はそう簡単ではありません。スタートアップなので業歴が浅いことが所与なのですが、案件を紹介しても「将来性が評価できない」として投資判断に至らないことが往々にしてあります。一方、ある程度の事業基盤が整ってくると、多くの投資家から資金が集まって時価総額が急激に大きくな

ります。こうなると「高すぎて買えない」となるのです。事業の見立てやリスク判断ができない、一方、財布は大きくないということで「スタートアップ投資を通じて次世代ビジネスに参画する」との掛け声と裏腹に、投資の実績が積み上がらないというジレンマがあるのです。

日本企業の特徴として、投資をポートフォリオで考えず、常に一発必中の姿勢で案件を探すことが挙げられます。ある程度の業歴を持ち、ビジネスモデルが出来上がっている企業の買収においては当然の姿勢ですが、スタートアップ投資に同じスタイルを当てはめるのは無理があります。実際、アーリーステージ専門のベンチャーキャピタルの勝率は、高くても20%と言われています。目利き力のプロが投資して、10社中8社は利益を上げられないということです。換言すれば、数社でもIPOを果たせば利益が得られるビジネスモデルであり、ベンチャーキャピタルにしてみれば、クラブのように大化けする先をいかに見出すかが手腕と言えます。そしてそれは、失敗投資の経験をどれだけ積んだかと裏腹の関係にあります。即ち、どのような市場環境で、どのようなビジネスモデルで、そしてどのような経営者の資質であれば成功・失敗するのかの経験をどれだけ蓄積したかということです。

財閥傘下のベンチャーキャピタルはCVC（コーポレート・ベンチャーキャピタル）としての性格が

所謂「次世代ビジネス」を構築・展開する為に、ユニークなビジネスモデルやイノベーションを有するスタートアップ企業の買収・提携を検討する日系企業は多い

大きな壁



壁を越えられない背景



結果として投資実績が積み上がらない過去数年を過ごしてきた

「失敗経験がないので目利き力も育たない」というループから抜け出せない

図1：日本企業のジレンマ

強く、「失敗の経験」の蓄積により涵養された「目利き力」がユニークなビジネスモデルを財閥本体に取り込む際に重要な役割を果たしていると言えます。繰り返しになりますが、そのような目利き力・経験値を有する人材が次世代のグループCEOになっていくのです。日系企業も、スタートアップ企業を自分のグループに取り込むことを企図するのであれば、やはり目利き力は非常に重要なのですが、「失敗を許さない」日系企業の投資カルチャーが、自らの経験蓄積の機会を奪っているのです。

それでも「目利き力」を補完的にでも涵養するにはどうしたら良いのでしょうか。これには秘策はありません。日系企業が持つ技術力・顧客ベース・ファイナンス力などに基づく戦略的提携のビジョンを、投資検討対象先のファウンダーや、当該企業に出資をしているベンチャーキャピタルに対して重層的・継続的にコミュニケーションしていく他はないのです。即ち「目利き力」とは、人脈形成に基づいた情報収集力・コミュニケーション力と同義なのです。

昨今、経済安全保障の意識が高まり、さまざまなソースから情報収集を行う「インテリジェンス経営」の重要性が指摘されています。人脈形成と情報収集そしてその上での事業提案というのもインテリジェンス活動に他ならず、ASEAN駐在員の今後の重要なスキルセットと言えます。特にシンガポール拠点は人・資金・情報の交錯路であり、インテリジェンスの企画・実行拠点としての役割はますます大きくなるでしょう。コミュニケーションルートの

確立、リレーションの構築、投資の実行をRecurringに行う為には、少なくとも5年の駐在スパンが求められます。しかしそれを可能にする海外人事態勢になっている日系企業は少ないのではないのでしょうか。インテリジェンス活動を支える駐在員育成に必要な海外人事態勢も、再考するタイミングに来ていると思われます。

<訳注>

注1：Staticia <https://www.statista.com/statistics/1246963/unbanked-population-in-selected-countries/>

執筆者氏名

木村 昌吾 (きむら しょうご)

経歴

三菱銀行（現MUFG銀行）、モルガンスタンレー証券、野村證券などを経て2015年よりKPMG FAS に勤務。2023年7月よりKPMG Service Pte Ltdに出向。
shogokimura1@kpmg.com.sg

Jリーグのアセアンにおける取組み

JAPAN PROFESSIONAL FOOTBALL LEAGUE
Global Business Officer

八幡 聖



はじめに

2015年6月、ロシアワールドカップアジア2次予選で日本代表（当時、FIFA ランク 52位）とシンガポール代表（同154位）が対戦しました。本田圭佑選手（ACミラン）、香川真司選手（ドルトムント）に代表される多彩なタレントを擁する日本代表の優勢とみられていた試合は意外にも0-0の引き分けに終わりました。公式記録によると日本が放ったシュートは23本に対しシンガポールはわずか3本です。アウェイの地で強固な守備を90分通して発揮したシンガポールの勝ちに等しい引き分けであったとみることができます。

私は、この一戦からシンガポールの競技力の高さに驚くとともに、戦略次第で強者を脅かすことができるサッカーの面白さを実感しました。

2023年11月から、2026年北中米ワールドカップに向けたアジア2次予選が始まりました。今回からワールドカップは出場国が拡大され、アジアからはこれまでの倍の8または9か国が出場できるようになりました。サッカー熱の高いアセアン諸国では出場権を賭けこれまで以上の予選の盛り上がりを見せること間違いありません。

Jリーグのアセアンにおける取組み

さて、Jリーグでは、アセアン諸国のフットボール熱、親日度、急速な競技レベルの向上に注目し、2012年にアジア戦略プロジェクト（以後、アジア戦略）を発足しました。主な目的を1) フットボー

ルの競技力向上と、2) フットボールを通じた新たな事業価値の創出と定め、アセアン各国との交流・事業を開始しました。

その後、2012年のタイ・リーグとのパートナーシップ協定を皮切りに、2013年にシンガポール Sリーグと協定を結びます。2023年11月現在、ASEANでは、タイ・ベトナム・ミャンマー・カンボジア・シンガポール・インドネシア・マレーシアの7か国とパートナーシップ協定を締結し、これらをJリーグ提携国と呼んでいます。特に、アジア戦略では各国の中心選手の将来的なJリーグの移籍・活躍が鍵となることから、「Jリーグ提携国」の選手は外国籍としてカウントしないという「Jリーグ提携国枠」制度を設けました。

年	登録数
2013	1
2014	4
2015	2
2016	4
2017	4
2018	7
2019	10
2020	9
2021	6
2022	12
延べ	59

アセアン出身 登録数推移
(提携国・提携国以外含む) 単位：人
2022年シーズン終了時点



これまでに延べ60人のアセアン出身選手が誕生（左からチャナティップ（タイ、2017-2023、アンダース・アプリン（シンガポール、2018）、アルハン（インドネシア、2022-）

ここで、Jリーグのアジア戦略に大きく貢献してくれた選手を1人紹介させてください。タイ代表のチャナティップ・ソングラシン選手です。「タイのメッシ」と称され国民的スターであった彼は2017年に北海道コンサドーレ札幌に移籍します。その後、2018年にはアセアン出身選手として初めてJリーグベストイレブンに選出され、Jリーグの中心選手となりました。川崎フロンターレへの移籍を経て、2023シーズン途中で母国タイの強豪チームBGパトゥムユナイテッドへ移籍し、Jリーグを離れてしまいましたが、日タイに架け橋をかけてくれた選手です。札幌時代には、100名を超えるタイのユース年代の子供たちが北海道を訪れたり、北海道とタイを繋ぐ事業が毎年行われたりするなど、北海道コンサドーレ札幌がタイ国内で最も知られているクラブになりました。将来、Jリーグを目指すタイの子どもが増えているという声も聞こえています。

Jリーグは、チャナティップ選手のモデルケースをアセアン諸国へ拡大していきます。そのためには、各国の選手・子どもとJリーグクラブの人的交流が重要です。

今年、ベトナムの高校生年代の選手をJリーグクラブ下部組織に招待し、短期キャンプを実施しました。予想よりも選手のスキルが高く、ベトナムのサッカーのレベルの認識を改めたとの声がありました。また、今年30を超えるJリーグクラブが育成年代の大会参加、サッカー教室、指導者派遣等をアセアン各国現地で実施します。Jリーグは三笠薫選手（ブライトン）等の世界的に活躍する選手を輩出し

ていることからリーグレベルが高いという認識が根付いており、日本式の育成メソッドを学びたいというニーズに応えています。

近年では、現地選手や将来を夢見る子どもたちの挑戦をサポートする企業も増えてきており、アセアンにおいてスポーツビジネスの循環が回り始めると実感しています。このような取り組みがいつか日本・シンガポールでも架け橋を結ぶ選手が生まれることに繋がると信じています。

おわりに

アジア戦略は「共に成長する」ことをキーワードとしています。フットボールを通じて日本とシンガポール両国の関係が更に深まり、両国の持続的な成長、交流の可能性を、読者の皆様と共に広げていきたいと願います。

執筆者氏名

八幡 聖（やはた せいや）

経歴

1990年生。早稲田大学本庄高等学院を経て、早稲田大学文化構想学部卒業。有限責任監査法人トーマツなどを経て、2022年より現職。

seiya.yahata@j-league.or.jp

松本山雅FCの取り組み ～フットボールがつなぐアセアンとの交流～

MATSUMOTO YAMAGA CO, LTD
International Operations Head, Youth Development Dept.
塩川 由貴



松本山雅FCとは

松本山雅FC（以下、山雅）は、長野県松本市に拠点を置くJリーグクラブです。クラブ名は、松本駅前にあった喫茶店「純喫茶山雅」の常連だった国体サッカー長野県選抜メンバー達が、1965年にチームを結成したことに由来します。

チーム発足から約40年後の2004年、山雅はJリーグ参入を標榜し、活動を本格化。それから7年後の2011年に、Jリーグ昇格を決めることができました。

Jリーグ参入を標榜した当時、北信越フットボールリーグ2部に所属していた市民クラブが、わずか7年という期間でJリーグ昇格を果たせたことは、スポンサー、サポーター、行政の皆様からあたたかなご支援をいただけたおかげだと思っております。

松本山雅FCの国際事業

長きにわたり山雅のメインスポンサーとして、セイコーエプソン（株）（以下、エプソン）様にご支援をいただいております。

エプソン様の海外関係会社であるEpson Singapore Pte. Ltd.（以下、エプソンシンガポール）様がシンガポールプレミアリーグの「Geylang International FC」（以下、GIFC）をスポンサードしているご縁で、エプソン様が両クラブをつなげてくださり、2016年11月に山雅とGIFCは業務提携を結びました。

GIFCの他にも2017年にアメリカのメジャーリーグサッカー「Real Salt Lake」、2018年にメキシコのリーグMX「Club Leon」と業務提携を結び、これまでさまざまな交流を行ってまいりました。

選手、コーチ、スタッフ、地域の人々の国際交流や経験の場の創出、マーケットの拡大、新たな事業価値の創出を目的に、国際事業活動を行っております。

これまでの活動

エプソン様のご支援のもと、日本から近いという好条件も生かして、シンガポールではこれまでに多くの交流をしてまいりました。

2018年8月には、当時シンガポール代表でGIFCに在籍していたアンダース・アプリン選手（現Hougan United FC所属）が山雅に期限付き移籍をし、シンガポール人初のJリーガーが誕生しました。

このニュースは当時のシンガポール国内でも大きな注目を集め、彼のチームでの活動のほか、松本での生活の様子などが現地でも報じられました。

また、プロサッカー選手の育成と、将来にわたってサッカーに携われる人材を輩出することを目的とした山雅の育成組織「松本山雅FCユースアカデミー」とGIFCアカデミーとの交流の機会も積極的に設けております。

互いのチームの大会への招待、GIFCアカデミーの優秀な選手が来日し、山雅アカデミーのトレーニングへの参加、指導者の派遣や受入れなど、さまざまな交流を行ってまいりました。

今年11月には、GIFC U-15の選手3名と担当コーチが、トレーニングに参加するため来日いたします。将来両クラブで活躍できるシンガポール人選手の育成を目指し、今後は年に数回実施していく予定です。

GIFCとの業務提携後は、コロナ禍を除き、毎年シンガポールで現地在住の方を対象にサッカークリニックを開催しており、今回来日する選手の1人は、2018年のクリニック参加者です。

GIFCと手を取り合い、これからも永く彼らとフットボールでつながれることを楽しみにしております。

10月には、エプソンシンガポール様と彼らの東南アジア各国のパートナー約50名がEducation Tripとして来日しました。

長野県諏訪市にあるエプソン様の本社、工場への訪問、ミーティングなどの多忙なスケジュールの中、山雅のホームゲーム観戦のため、皆さんでスタジアムにご来場くださいました。

この日は「信州ダービー」と呼ばれる、長野県松本市を本拠地とする山雅と、同長野市を本拠地とするAC長野パルセイロとが対戦する大変注目度の高い試合が行われており、スタジアムには12,457人ものサポーターが詰めかけました。

そんな特別な熱気に包まれながら、皆さんは山雅のユニフォームを着用して熱くチームを応援してください、山雅はこの大一番に見事勝利することができました。

試合後は、「Feel so good!」と、ユニフォームを着たまま帰路につかれるほどで、大変喜んでいただけたことを感じました。

各国からおいでになった皆さんと一緒に試合を観て一喜一憂し、フットボールで一つになれたことは、まさにスポーツの持つパワーであると思えました。

またこの日は、「エプソンスペシャルマッチ」と題した、エプソン様の最新技術を使ったイベントや、GIFCとのパートナーシップイベントも行われ、試合以外にも見どころの多い日となりました。



2023/10/15 エプソンシンガポールと東南アジアのパートナーの皆さん



GIFCとのパートナーシップイベント

今後の活動

GIFCが業務提携しているベトナムのVリーグ「Ho Chi Minh City FC」も、私たちの取り組みに非常に高い関心を寄せてくださり、ミーティングを重ねています。

同じ志を持った仲間と共に、お互いの成長を目指し、今後も活動していく所存です。

本稿では、私たち松本山雅FCが取り組む国際事業活動について紹介させていただきましたが、スポーツビジネスの活用を検討している読者の方のご参考となれば幸いです。

執筆者氏名

塩川 由貴 (しおかわ ゆき)

経歴

2010年に(株)松本山雅に入社し、広報、イベント、ファンクラブ、ホームタウン、グッズ担当を務める。2019年よりGeylang International FC (シンガポール) でオペレーションマネージャーを務め、2021年より(株)松本山雅に戻り、国際事業とユースアカデミーの心理カウンセラーを担当。

shiokawa@yamaga-fc.com

着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 参与
JETRO SINGAPORE
Managing Director
木村 洋一



9月17日に着任いたしました。この場を借りてご挨拶を申し上げます。私どもジェトロは経済産業省系の政府機関です。シンガポールを含む、内外合計120拠点以上の事務所網を最大限活かして、日本と海外のビジネス交流をお手伝いしてまいります。会員の皆さまのビジネス活動に少しでもお役に立てますよう力を尽くしてまいります。

シンガポール事務所に日本企業の皆さまからいただくご相談は年1,000件あまりにのぼります。大まかな傾向を浮かび上がらせると次の二点が挙げられます。それは、<1>南アジアを含めた、広域でのビジネス拡大の強い意欲が感じられること、<2>シンガポールを活用したイノベーション創出への強い関心——の2つです。

<日本の中小企業の輸出支援に一層注力します>

第一点目の日本企業の「南アジアを見据えた広域での事業展開」には2つの側面がみられます。一つには、デジタル化の進展やインフレ高進など経済環境が大きく変化するなかで、シンガポール拠点の位置付けを再検討しようという動きです。多くの日本企業が置いている「地域統括拠点」は、現在はその機能や権限、位置付けを見直す機運が高まっているように感じられます。もう一つの側面は、コロナ後の巻き返しです。日本からの食品や消費財の市場開拓にドライブがかかっているほか、シンガポールの特徴をとらまえて、富裕層に狙いを定めたサービス提供に商機を求めている姿が垣間見えます。

こうした日本企業の皆さまのご関心を踏まえて、私どもでは、インドやバングラデシュなど南アジアのジェトロ拠点との連結性をさらに強めて、皆さまのこれら現地での活動のお手伝いが一層円滑に、質の高い水準で行えるようにしてまいります。また、シンガポール拠点の位置付け再検討の動きに対しましては、地域統括拠点を深掘る調査を行って、適時に客観的なデータ・分析を提供できるようにしてまいります。さらに、日本企業によるコロナ後の市場

開拓の巻き返しの動きに対しては、JCCIや大使館、在シンガポールのサービスプロバイダーの皆さまのご協力もいただきながら、オールジャパンで東になって、特に日本の中小企業の輸出への取り組みをこれまで以上に応援していきたく存じます。

<イノベーション創出へのお手伝いに力を入れます>

次に、日本企業の皆さまからいただくご相談のもう一つの傾向、「イノベーション創出への強い関心」についてです。日本の大企業、中堅・中小企業のいずれも、シンガポールのスタートアップとの協業連携を模索するなど、オープンイノベーションの舞台としてのシンガポールをうまく取り込みたいという強い意気込みが感じられます。

私どもでも、この領域の活動にしっかりリソースを配分して、グローバルスケールを目指す日本発スタートアップ、そしてシンガポールをオープンイノベーションハブとして活用し、今後の国際競争力の維持発展を図りたいという日本企業の皆さまのお手伝いに一層力を入れてまいります。

このために、シンガポールで開催される多くの国際イベントに、日本パビリオンとして出展参加するとともに、こうした機会を捉えて、日本企業の皆さまに参加いただける関連イベントを企画し、スタートアップのほか、エコシステムを支える方々との交流機会をこれまで以上に設けてまいります。また、ジェトロが立ち上げた、日本企業と海外スタートアップとの協業連携のためのプログラム「J-Bridge」をさらに広く皆さまに活用いただき、国際的なオープンイノベーション促進のお手伝いに一段と努めてまいります。

最後に、私どもジェトロの活動の理念に「世界とつながる。ともに、一歩先へ」というものがございます。シンガポール政府、業界、企業などステークホルダーの皆さまと相互に広く、深くつながりながら、会員の皆さまとともに、一歩先へまい進していきたいと存じます。

第631回理事会 議事録

日時：2023年10月10日（火）12：00～13：00

方法：日本人会 2階 ボールルーム（オンライン参加あり）

出席者：（敬称略）

（日本人会）会頭：馬場

副会頭：河田、土橋、江口、河野、山崎

運営担当理事：富井、神田、杉島、西村

理事：辻井、小林（一）、佐々木、藤本、森、矢島、中西、中條、稲垣、高村、疋田、柴田、
大迫、小関、坂井、橋本、朝長

監事：大隅

参与：高橋、中西、木村

事務局：梁

（オンライン）理事：小林（広）、小林（篤）、関、小出、味方、横山

計37名

馬場会頭が議長となって開会した。

議 事：

1. 前回（第630回）議事録の承認

馬場会頭が前回（第630回）の議事録について諮ったところ、異議なく承認された。

2. 審議事項

(1) 「月報ウェブ一本化の提案」について

広報委員会の土橋委員長より、来年1月から月報の紙媒体を取りやめ、ウェブ一本化する説明と提案、及び質疑応答も行い、諮られたところ異議なく承認された。

(2) 「移転価格税制の基礎・世界的な税制改革とシンガポールの対応を知る」セミナーへの後援名義付与について

梁事務局長より、ジェットロ・シンガポール事務所が主催するセミナー「移転価格税制の基礎・世界的な税制改革とシンガポールの対応を知る」に対するJCCI後援名義の使用申請について、説明があり、諮られたところ異議なく後援名義の付与が承認された。

(3) 入退会について

梁事務局長より、3法人からの入会申請があったとの説明があり、諮られたところ異議なく承認された。これにより会員数は、法人会員719社、個人会員64名、計783会員となった。

3. 報告事項

(1) 会頭報告、最近および今後の主要行事・会合について

馬場会頭より、最近開催した、およびこれから10月中に開催する予定の行事・会合について、説明があった。

(2) 部会・委員会・基金からの報告

- ・企画・組織強化委員会の江口委員長から、「準会員制度と会費改定」の検討について、説明と報告があり、質疑応答も行った。今年中に、理事から意見を募集し、来年1月理事会にて審議することになった。
- ・第二工業部会の小関部会長から、「会社の採用・労務管理に役立つシンガポールの教育制度」ウェビナーについて、報告があった。
- ・貿易・運輸部会の高村部会長から、「PSA Singapore Tuas 港湾施設視察並びに夕食懇親会」について、報告があった。
- ・金融・保険部会の疋田部会長から、第三工業部会と共催した「風水ツアーおよび懇親会」について、報告があった。
- ・生活産業部会の神田副部会長から、「Turf Club 視察会」について、報告があった。
- ・生活産業部会の土橋部会長から、講演会「一風堂の挑戦～そして未来へ～」の案内と参加依頼について、説明があった。
- ・梁事務局長から、「インターチェンバーのネットワーキングイベント」について、報告があった。
- ・基金の西村募金委員長から、募金進捗状況について、報告があった。

(3) 大使館並びにジェットロからの報告・連絡事項

- ・大使館の高橋公使より、JCCI理事企業を対象に行う「当地幼稚園の月謝・入学金及び補填額の調査」について、協力依頼を行った。
- ・ジェットロの木村所長より、着任挨拶および調査とイベントの案内があった。

(4) その他

・事務局連絡

梁事務局長より、「2024年月報1月号」への寄稿について、大使、会頭、各部長に依頼があった。また、JCCIとLions Befriendersとのコラボ企画「企業ロゴ入りトートバッグ配布事業」について、説明があった。

・新任の森理事（川崎重工業シンガポール）の挨拶があった。

(5) 2022年度基金奨学生による日本留学の報告

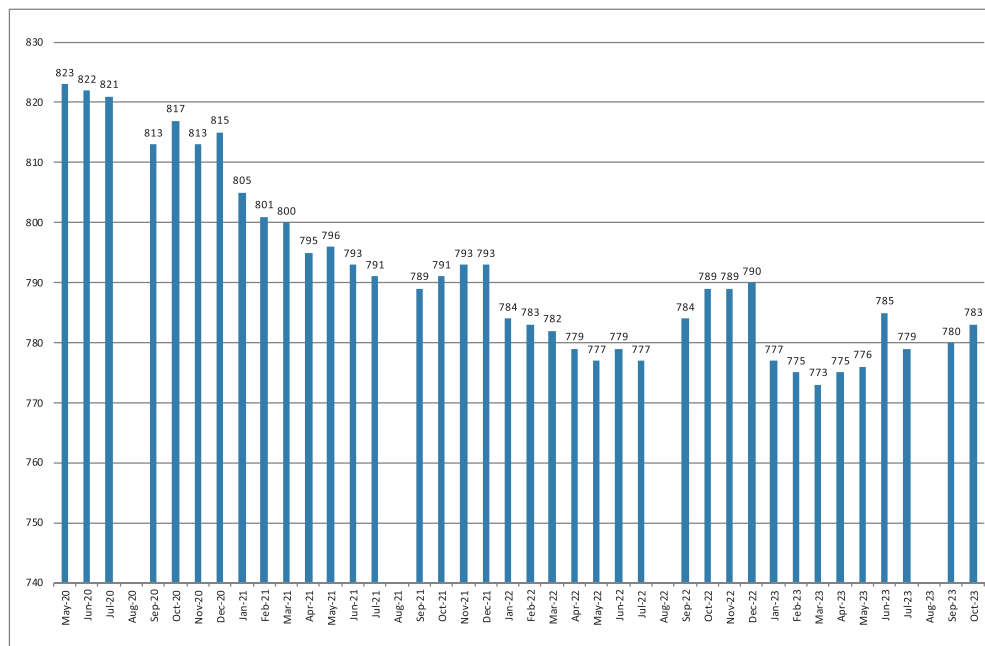
2022年秋から今年初夏まで、日本に留学したICU 留学生ワン・レイさん、早稲田大学留学生ワイティンさんとジェレミーさんがそれぞれの留学体験と感想を発表した。

以上

<入会承認会員一覧（2023年11月理事会）>

会員名	格付	備考
ALL FOR FAN SINGAPORE PTE LTD [法人サービス・IT部会]	C (法人)	Webサイト運営、Webマーケティング 現地法人（現地独立資本） 設立登記：2018年1月 従業員数：3（派遣邦人3）
HUES AND COMPANY PTE. LTD. [法人サービス・IT部会]	C (法人)	市場進出マーケティング戦略策定と実行支援を提供、ブランドの設計・構築から市場・消費者調査、デジタルメディア活用や広告運用までをワンストップで支援しています。 現地法人（現地独立資本） 設立登記：2023年7月 従業員数：1（現地邦人1）
NEXTBEAT SINGAPORE PTE. LTD. [生活産業部会]	C (法人)	Recruitment Company 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2021年10月 従業員数：5（現地邦人3）
Ms. Marie Tanao (BRUNSWICK GROUP PTE LTD) [法人サービス・IT部会]	D (個人)	危機対応、M&A、アクティビスト防衛、訴訟などの企業の重要課題の解決に特化した戦略系アドバイザー・ファームです。 支店（親会社：英国） 設立登記：2013年6月 従業員数：22（派遣邦人1）

最近の推移：



<新規入会会員紹介>

会社名 (英)	ALL FOR FAN SINGAPORE PTE LTD	
登録代表者名 (日・英)	百武 大輝 HYAKUTAKE Daiki	
所在地	190 Clemenceau Ave, #06-01 Singapore Shopping Centre, Singapore 239924	
電話番号		
事業内容	シンガポール国内の企業様のWEBマーケティングを活用した集客をご支援致します。	
会社概要	ALL FOR FAN SINGAPOREはシンガポールを拠点としたWEBマーケティング会社です。データ分析に基づく成果重視のウェブサイト制作、コンバージョン率が高いランディングページの制作&インターネット広告運用、シンガポール国内に特化したGoogle Mapsを活用した店舗集客支援 (MEO対策) など様々なサービスでビジネスの成長をご支援させていただきます。	

会社名 (英)	BRUNSWICK GROUP (個人会員)	BRUNSWICK
登録代表者名 (日・英)	棚尾 真理絵 TANAO Marie	
所在地	1 Raffles Place, #14-61 Tower 2, 048616	
電話番号	6426 8188	
事業内容	ステークホルダー・エンゲージメント戦略の策定・実行支援	
会社概要	当社は、ステークホルダー・エンゲージメントに強みを持つ戦略コンサルティング・ファームです。ビジネスと政治、金融、社会の各領域が複雑に交錯し、急速に変化を続ける国際社会において、クライアント企業がより高い価値を実現できるよう、投資家・株主、メディア、政府、取引先・顧客、従業員、非政府組織などのマルチ・ステークホルダーの巻き込みについて、戦略の策定から実行まで支援しています。特に、多岐に亘るステークホルダーに対して、グローバルで同時並行的に働きかけ、彼らの意識や行動を変えることを得意としています。	

Eメールアドレス ご登録・ご変更等のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊所活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

シンガポール日本商工会議所では、Eメールを通じて、セミナーや視察会の他、機関紙「月報」(電子版)のご案内、JCCI基金活動のご紹介など、幅広い情報をお送りさせて頂いております。

法人会員の皆様におかれましては、複数の方のEメールアドレスをご登録頂き、事業へご参加頂けますと幸いです。(何名様でもご登録頂けます。)

敬具

記

<新規登録方法>

・ご登録をご希望のEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール新規登録」とご記入下さい。

<登録変更方法>

・現在、ご登録頂いているEメールアドレスと、新しく送付先にするEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール登録変更」とご記入下さい。

<登録削除方法>

・削除を希望されるEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール削除希望」とご記入下さい。

<本件担当> JCCI事務局 (担当: Doris) E-mail: info@jcci.org.sg Tel: 6221-0541

お詫びと訂正のお知らせ

2023年11月号月報に掲載いたしました入会承認会員一覧に一部誤植がみつかりました。
お詫びして、下記の通り、訂正させていただきます。

<正>

<入会承認会員一覧（2023年10月理事会）>

会 員 名	格付	備 考
GMO-Z.COM RESEARCH PTE. LTD. 【法人サービス・IT部会】	B (法人)	Online Marketing Research 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2012年12月 従業員数：4（派遣邦人1）

Eメール送信サービスのご案内

シンガポール日本商工会議所では、広報支援サービスの一環として、会員企業へ各社の製品・サービスや事業をEメールでご案内頂くことができる下記「Eメール送信サービス」を実施しております。
各社、ご案内を希望される際には、ぜひご利用頂きますと幸いです。

記

<サービス概要>

費 用：S\$200.00（1配信/GST別）※配信前に費用（bank transfer、Paynow）のお支払いをお願いいたします。

お支払い頂きました後、翌日から3営業日以内に配信いたします。

配信日・時間：平日（土・日・祝・休館日を除く）、9～16時

配信数：約2,200通（2023年3月末現在）

その他：JCCI会員のみ利用可。

<サービスご利用の流れ>

① info@jcci.org.sg（担当：Doris）まで、本サービスのご利用希望の旨、ご連絡下さい。

② 事務局より「お申込書及び請求書」をEメールで送付いたします。

③ 「お申込書及び請求書」に必要事項をご記入頂き、ご返送下さい。

④ 配信用の原稿をテキスト、もしくはワードでお送りください。尚、PDFファイルを添付頂くことも可能ですが、サイズは1.5MB以内にご調整下さい。（ファイルのサイズが大きいと受信頂けなくなる可能性がございます。）

⑤ 申込書のご提出及びお支払いが完了した時点で、テストメールをお送り致します。

⑥ テストメールをご確認頂きました後、メール配信をさせていただきます。

<注意事項> ・ご利用の際には、「Standard Guidelines for use of JCCI Email Service」

（<https://www.jcci.org.sg/wp-content/uploads/2019/05/Standard-Guidelines-JCCI-E-mail-service.pdf>）

に同意頂く必要がございます。

10月

10月5日 (基金) Japanese Film Festival 2023



2022年度の寄付先Singapore Film Societyが実施した「Japanese Film Festival 2023」



受付の様子



オープニングショー「MONDAYS このタイムループ、上司に気づかせないと終わらない」に招待されたゲスト



上映後、映画監督

10月10日 理事会

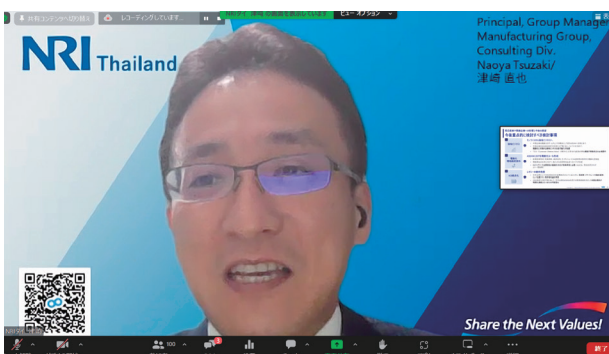


日本滞在中に学んだことを発表する留学生たち



留学生の発表を聞く理事の皆さん

10月17日 第一工業部会主催講演会「ASEAN次世代自動車産業の動向と日本企業への影響」



講師のNRI 津崎様



村上部会長（トヨタモーターアジア・パシフィック）ご挨拶

10月28日 第一工業部会&貿易・運輸部会懇親ゴルフ



高村部会長（貿易・運輸、MOL (ASIA OCEANIA)）によるコース説明



プレー前の集合写真

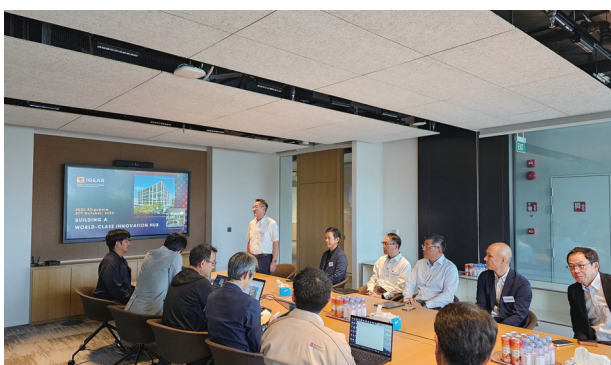


森副部会長（第一、川崎重工業（シンガポール））による乾杯のご発声



中條副部会長（貿易・運輸、アジア・大洋州三井物産）による中締め挨拶

10月31日 建設・不動産部会「鹿島建設シンガポール本社ビルThe GEAR」建物見学会



横山部会長（大林シンガポールプライベートリミテッド）の開会ご挨拶



鹿島建設の大高様と横山部会長



集合写真



集合写真

11月

11月4日 生活産業部会「一風堂講演会」



河原様のご講演



山根様のご講演



会場の様子



質問をされる参加者



質疑応答中の河原様・山根様



1等 \$100 バウチャー 当選者の皆様

11月15日 (基金) Singapore Disability Sports Awards 2023



2022年度の寄付先 Singapore Disability Sports Council (SDSC) が開催した「Singapore Disability Sports Awards 2023」



JCCI基金がSDSCにこれまでの支援におかれまして、JCCI事務局長の梁が Mr Eric Chua, Senior Parliamentary Secretary in the Ministry of Social and Family Development and the Ministry of Culture, Community and Youth から感謝状を頂いた

2023年会員懇親パーティー

本年は12月7日（木）に石川大使を主賓としてお迎えし、会員懇親パーティーを開催致しました。
会員の皆様の笑顔に支えられ、大盛況の内に終了することが出来ました！ 有難うございました。





2023年会員懇親パーティー ラッキードロー・クイズ賞品ならびにドアギフトご提供一覧

(2023年12月8日現在)

※ Price excludes GST and service charge

Item No.	Company Name	Prize	Price Range (excl TAX)
1	All Nippon Airways Co., Ltd.	ANA 1 Pair of Economy Class Return Air Ticket from Singapore to Tokyo	
2	Japan Airlines Co., Ltd.	JAL 1 Pair of Economy Class Return Air ticket from Singapore to Tokyo	
3	Pasona Singapore Pte. Ltd.	Pair of Tickets for 1 Night and 2 Days (Breakfast & Dinner Included) at GRAND CHARIOT ~Hokutoshichisei 135° ~ Awaji, JAPAN	S\$800 range
4	Pasona Singapore Pte. Ltd.	Pair of Tickets for 1 Night and 2 Days (Breakfast & Dinner Included) at GRAND CHARIOT ~Hokutoshichisei 135° ~ Awaji, JAPAN	
5	Pasona Singapore Pte. Ltd.	Pair of Tickets for 1 Night and 2 Days (Breakfast & Dinner Included) at GRAND CHARIOT ~Hokutoshichisei 135° ~ Awaji, JAPAN	
6	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Lexus Golf Bag (White & Black)	S\$700 range
7	SEIKO Manufacturing (Singapore) Pte. Ltd.	SEIKO Watch Prospex SRPH17	S\$600 range
8	SEIKO Manufacturing (Singapore) Pte. Ltd.	SEIKO Watch Prospex SRPE99	
9	Mitsui Fudosan Asia	St.Regis Hotel Room Voucher	
10	FUJIFILM Business Innovation Asia Pacific Pte. Ltd.	ASTALIFT Assorted Cosmetics	
11	FUJIFILM Business Innovation Asia Pacific Pte. Ltd.	ASTALIFT Assorted Cosmetics	
12	Hitachi Asia Ltd.	Hitachi Air Purifier EP-NZG70J	
13	Canon Singapore Pte. Ltd.	Video-centric Concept Camera PowerShot V10	S\$500 range
14	Yamato Transport Singapore Pte Ltd	iPad (9th generation)	
15	Sumitomo Corporation Asia & Oceania Pte. Ltd	Takashimaya Voucher	
16	Marubeni Asean Pte Ltd	Isetan Voucher	
17	ITOCHU Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
18	Mitsubishi Chemical Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
19	Mitsubishi Corporation	Takashimaya Voucher	
20	Mitsui & Co. (Asia Pacific) Pte.Ltd.	Takashimaya Voucher	
21	Toll logistics (Asia) Ltd (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
22	JTB Pte Ltd Singapore	Travel Voucher	
23	IHI Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	S\$300 range
24	Industrial Growth Platform Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
25	Jurong Engineering Limited	Isetan Voucher	
26	KAJIMA Overseas Asia (Singapore) Pte Ltd	The Ritz-Carlton Pair Dinner Voucher at COLONY	
27	KDDI Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
28	Mitsui Chemicals Asia Pacific Ltd	Takashimaya Voucher	
29	Mitsui-Soko (Singapore) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
30	Mizuho Bank, Ltd.	Yamazaki 12 Year Old Single Malt Japanese Whisky & 1 Box of Golf Ball with Mizuho Logo	
31	NEC Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
32	NIKON Singapore Pte Ltd	Nikon Coolshot 80 VR Rangefinder	
33	NIKON Singapore Pte Ltd	Nikon Coolshot 80 VR Rangefinder	
34	Nippon Express (South Asia & Oceania) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
35	Obayashi Singapore Private Limited	Takashimaya Voucher	
36	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic Nanoe Hair Dryer (Model : EH-NA98RP605)	
37	Penta-Ocean Construction Co., Ltd.	Isetan Voucher	
38	Sato Kogyo Co., Ltd.	Takashimaya Voucher	
39	Sojitz Asia Pte Ltd	Isetan Voucher	
40	Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
41	Sumitomo Mitsui Banking Corporation	Takashimaya Voucher	
42	Toshiba Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
43	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Lexus Golf bag (Black)	
44	Tsubakimoto Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
45	AnyMind Group Pte. Ltd.	Yamazaki Whisky Aged 12 Years	S\$200 range
46	Ebara Engineering Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	

2023年会員懇親パーティー ラッキードロー・クイズ賞品ならびにドアギフトご提供一覧

Item No.	Company Name	Prize	Price Range (excl TAX)
47	ENEOS Oil & Energy Asia Pte. Ltd.	ENEOS Golf balls +Takashimaya Voucher Set	S\$200 range
48	ENEOS Oil & Energy Asia Pte. Ltd.	ENEOS Golf balls +Takashimaya Voucher Set	
49	FUJIFILM Asia Pacific Pte. Ltd.	Instax SQ Link Green and Film Special Sets	
50	FUJIFILM Asia Pacific Pte. Ltd.	Instax SQ Link Green and Film Special Sets	
51	Fujikin Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
52	Japan Green Hospital Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
53	Japan Green Hospital Pte Ltd	Isetan Voucher	
54	JFE Steel Asia Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
55	Kanematsu (Singapore) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
56	Kao Singapore Private Limited	ORIBE, Signature Experience Collection (Shampoo,Conditioner,Body wash,Body Creme)	
57	Kao Singapore Private Limited	ORIBE, Signature Experience Collection (Shampoo,Conditioner,Body wash,Body Creme)	
58	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Standing Fans 1pc + 1 box of Golf Ball	
59	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Standing Fans 1pc + 1 box of Golf Ball	
60	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Standing Fans 1pc	
61	Mitsui Fudosan Asia Pte Ltd	3 Boxes of Golf Ball (MFA logo)	
62	Nikon Singapore Pte Ltd	Nikon Prostaff 3i Laser Rangefinder	
63	Nisshinbo Singapore Pte Ltd	ISETAN Vouchers	
64	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic True Wireless Noise Cancelling Earbuds (Black) (Model : EAH-AZ40M2E)	
65	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic Lightweight Cordless Stick Vacuum Cleaner (Model : MC-SBM20H647)	
66	SBI Ven Capital Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
67	Sompo Insurance Singapore Pte. Ltd.	Golf Balls 3 Dozens	
68	SU Navigation Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
69	Threebond Singapore Pte Ltd	Jing Hua Voucher	
70	TMEIC Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
71	Yamazaki Mazak Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
72	Ajinomoto (Singapore) Pte Ltd	amino VITAL AMINO PROTEIN	S\$100 range
73	Albirex Singapore Pte Ltd	Albirex Singapore Supporters Set (Champion T-shirts, Towel Scarf, and Albirex Rice 2kg)	
74	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte Ltd	Isetan Voucher	
75	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte Ltd	Isetan Voucher	
76	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte Ltd	Isetan Voucher	
77	Fujitsu Asia Pte Ltd	Srixon Soft Feel Golf Balls x 5 boxes (12pcs/box)	
78	IJ Global Solutions Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
79	Japan Green Hospital Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
80	Japan Green Hospital Pte Ltd	Isetan Voucher	
81	KPMG Services Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
82	Kurihara Kogyo Co., Ltd.	Best Denki Voucher	
83	Kurihara Kogyo Co., Ltd.	Best Denki Voucher	
84	Kyocera Asia Pacific Pte Ltd	Ceramic Coffee Grinder & Ceramic Tumbler with Lid(350ml) Set	
85	Kyocera Asia Pacific Pte Ltd	Citrus 3pcs Knives Set	
86	Meisei Co. & Ltd. Singapore Branch	Takashimaya Voucher	
87	MOL (Asia Oceania) Pte. Ltd.	Assorted MOL Goods, Nipponmaru Curry, Ballpoint Pen, Mirror Clock	
88	MOL (Asia Oceania) Pte. Ltd.	Assorted MOL Goods, Nipponmaru Curry, Ballpoint Pen, Mirror Clock	

2023年会員懇親パーティー ラッキードロー・クイズ賞品ならびにドアギフトご提供一覧

Item No.	Company Name	Prize	Price Range (excl TAX)
89	MOL (Asia Oceania) Pte. Ltd.	Assorted MOL Goods, Nipponmaru Curry, Ballpoint Pen, Mirror Clock	S\$100 range
90	MSIG Insurance (Singapore) Pte. Ltd.	Golf Balls (2 dozens), Titleist Pro V1X	
91	MSIG Insurance (Singapore) Pte. Ltd.	Golf Balls (2 dozens), Titleist Pro V1X	
92	MUFG Bank, Ltd.	Golf Balls x 3 dozens	
93	MUFG Bank, Ltd.	Golf Balls x 2 dozens	
94	MUFG Bank, Ltd.	Golf Balls x 2 dozens	
95	NTT Singapore Pte Ltd	Golf Balls x 2 dozens	
96	NTT Singapore Pte Ltd	Golf Balls x 2 dozens	
97	NTT Singapore Pte Ltd	Golf Balls x 2 dozens	
98	NYK Group South Asia Pte Ltd	Golf Balls	
99	Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte Ltd & Osaka Gas Singapore Pte Ltd	Golf Balls	
100	Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte Ltd & Osaka Gas Singapore Pte Ltd	Golf Balls	
101	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	SUN with MOON Japanese Dining & Café Voucher	
102	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	SUN with MOON Japanese Dining & Café Voucher	
103	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	Pepper Lunch Voucher	
104	Sansan Global Pte Ltd.	Sansan Golf Balls	
105	Sansan Global Pte Ltd.	Sansan Golf Balls	
106	Sansan Global Pte Ltd.	Sansan Golf Balls	
107	Shimizu Corporation	Isetan Voucher	
108	Shimizu Corporation	Isetan Voucher	
109	Shimizu Corporation	Isetan Voucher	
110	SKY Perfect JSAT Corporation Singapore Branch	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
111	SKY Perfect JSAT Corporation Singapore Branch	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
112	SKY Perfect JSAT Corporation Singapore Branch	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
113	The Hokuriku Bank, Ltd.	Takashimaya Voucher	
114	Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
115	Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
116	Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
117	Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
118	Tsuchiya Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	
119	Tsuchiya Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	
120	United Overseas Bank	NITORI Shopping Voucher	
121	United Overseas Bank	NITORI Shopping Voucher	
122	United Overseas Bank	NITORI Shopping Voucher	
123	YAC Systems Singapore Pte Ltd	Aroma Diffuser & Takashimaya Voucher	
124	YAC Systems Singapore Pte Ltd	Aroma Diffuser & Takashimaya Voucher	
125	YAC Systems Singapore Pte Ltd	Aroma Diffuser & Takashimaya Voucher	
126	Yakult Singapore Pte Ltd	Yakult Cosmetics and Yakult Ramen	
127	Yakult Singapore Pte Ltd	Yakult Cosmetics and Yakult Ramen	
128	Yusen Logistics Singapore Pte .Ltd	MEIDI-YA Voucher	

Quiz prize

129	Toray International Singapore Pte Ltd	Don Don Donki Voucher	S\$200 range
-----	---------------------------------------	-----------------------	--------------

Door gift

130	Kikkoman (S) Pte Ltd	TOMATO NABE Hotpot Soup x 200 Bottles	S\$1,000 range
131	Kikkoman (S) Pte Ltd	Pirikara NABE / Spicy Hotpot Soup x 200 Bottles	S\$1,000 range
132	Translasia Holdings Pte. Ltd.	Mini Bluetooth Speaker Mic x 20 Sets	S\$300 range

多くの会員企業様よりご支援ご協力賜り、誠にありがとうございました。

ご登録データ 変更フォーム

代表者、住所、E メールアドレスなどの登録内容に変更がございましたら、下記変更フォームに必要事項をご記入の上、JCCI 事務局まで E メールにてご連絡頂くか、JCCI の HP (<https://www.jcci.org.sg/membership/notification-of-change/>) より変更手続きを頂きますよう、お願い申し上げます。

※弊所からの各種事業のご案内は、原則 E メールにてお送りさせて頂いております。

ご異動などがございました際には、登録 E メールアドレスのご変更をお願いいたします。

※変更のご連絡を頂きました際には、弊所からご返信を差し上げております。万一、返信がない場合には、お手数をおかけいたしますが、一度、事務局までご連絡下さい。

※ご変更の際には、必ず会社名と E メールアドレスをご記入下さい。

会社名(日)			
会社名(英)*			
旧代表者名(日)			
新代表者名(日)		新代表者名(英)	
役職名(日)		役職名(英)	
E-MAIL*			

Address			
Tel:		Fax:	
業務内容			
派遣邦人		シンガポール人	
現地邦人		外国人	
総従業員数			
変更日	年	月	日 より

新規登録 E メールアドレス	削除 E メールアドレス

その他

本件担当：シンガポール日本商工会議所 ドリス (E-mail : doris@jcci.org.sg TEL : 6221-0541)

月報 December, 2023

編集後記

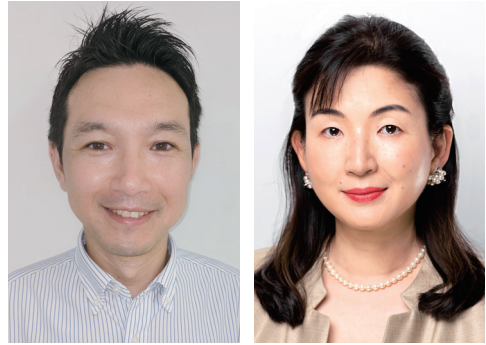
今月もJCCI月報12月号をご覧いただきありがとうございます。今月も多岐にわたる分野の記事を掲載しておりますが、いかがでしたでしょうか。

今年は日本とASEANの友好協力50周年に当たる年として、様々な記念事業やイベントがありましたが、本月報の特集記事でも、様々な観点からシンガポールをはじめASEANと日本の関係に触れていただきました。

岸田総理大臣も今年が日本とASEANの「輝ける友情」を次世代に繋ぐ「輝ける機会」としたいと語っているとおり、日本も多くのことをASEANから学び、またこれまで築き上げてきた日本ブランドと新しい価値をASEANに発信できるような関係を構築していきたいものです。今月号にご寄稿いただいた記事はこのような観点で日本とASEANのこれからの関係を考える上で非常に示唆に富んでいたのではと考えております。

さて、時が経つのは早いもので、気が付けば今年も残すところあと1か月となりました。「師走」の文字どおり、皆様もお忙しくされておられることと存じます。今年も世界的な物価高騰、円安の進行、続くウクライナ情勢や再燃したイスラエル・パレスチナ紛争など様々な出来事が起き、世界はまだまだ混沌としておりますが、来年は少しでも環境が落ち着き、安心と安全が実感できるような世の中になることを切に願っております。

末筆になりますが、ご多忙の中ご執筆いただいた皆様、本月報をお読みいただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。



左：湯本 右：近藤

(編集後記担当：NAGANO REPRESENTATIVE OFFICE IN SINGAPORE (J.CLAIR SINGAPORE) 湯本 茂樹)

○氏名：湯本 茂樹 (ゆもと しげき)
○出身地：長野県中野市
○在星暦：1年8か月 (2022年4月～)
○会社名：NAGANO REPRESENTATIVE OFFICE IN SINGAPORE (J.CLAIR SINGAPORE)
○仕事内容：長野県企業の販路拡大、県産品の輸出拡大、インバウンド誘致など
○趣味：ソフトボール後の一杯
○シンガポールで一番素敵だと思うところ：子連れ家族にやさしいところ
○読者の皆様へ：今後も皆様にご関心いただけるような記事を取り上げてまいります。

○氏名：近藤 明日香 (こんどう あすか)
○出身地：埼玉県さいたま市 (旧浦和市)
○在星暦：通算8年10カ月 (2011年4月～15年3月、2019年3月～)
○会社名：NIKKEI GROUP ASIA
○仕事内容：日本経済新聞社グループの東南・南アジアにおける事業開発。域内投資先・グループ企業との連携調整や、英文ニュース媒体Nikkei Asia等の認知度向上に資するメディア協賛、カンファレンス企画実施など
○趣味：声楽 (ソプラノ)、巷のヘリテージ探索散歩、演劇など舞台鑑賞、人の本棚の写真や車内で何か読んでいる人を眺める
○シンガポールで一番素敵だと思うところ：文化の多様さ、革新と伝統の共存、総じて気さくかつ真面目な国民性
○読者の皆様へ：編集委員拝命を機に昨今の月報を見返し、日系企業が当地で積み上げてきた知見や人材の厚み、その多大な可能性の一端を改めて垣間見た思いであります。微力ながらお役に立てれば光栄です。

発行

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way #12- 04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221 - 0541 Fax: 6225 - 6197
E-mail: info@jcci.org.sg Web: <http://www.jcci.org.sg>

編集

TOUBI SINGAPORE PTE.LTD.
138 Robinson Road #18-03 Oxley Tower Singapore 068906
Web: <http://www.toubi.co.jp/>

印刷

adred creation print pte ltd
Blk 12 Lorong Bakar Batu #01-01 Singapore 348745
Tel: 6747 - 5369 Fax: 6747 - 5269
Web: <http://www.adredcreation.com/>

< 2024年1月号月報 掲載予定記事一覧 >

- | | |
|---|--|
| ①新年のご挨拶
- 会頭
- 大使
- 各部会 部会長 | ④ JCCI 基金
- 御礼
- 寄付先紹介
- 募金状況 |
| ② 広報委員会
- 委員長ご挨拶
- 委員紹介
- 主要ニュース | ⑤ 活動報告・お知らせ
- 理事会議事録 (2023年11月)
- 入会承認会員一覧 (2023年12月理事会)
- 新規入会会員紹介
- 編集後記 |

※タイトル及び記事内容については、執筆者の都合により変更される場合があります。

オンライン診療 による22時まで 365日年中無休 24時間日本語対応

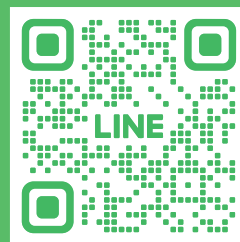
事前
登録

わずか
30秒



ご家族や自身の為に公式LINEへの事前登録を

ご予約・診療・お薬のことなど
いつでもLINEから日本語でお問い合わせください。



LINEでかんたん予約

ことびあクリニック
ID : @cotoviaclinic.sg

11月 東京・恵比寿に開院

ことびあクリニック

ウエストコーストプラザ 154 West Coast Road #01-79 West Coast Plaza, 127371
UEスクエア 81 Clemenceau Ave, #03-11 UE Square Shopping Mall 239917
恵比寿 東京都渋谷区広尾1丁目3-14広尾ASAXビル6F
休診日 なし ※UEスクエアは土曜・祝日休診
LINE ID @cotoviaclinic.sg <https://cotoviaclinic.com>

各種海外旅行保険キャッシュレス対応
※一部オンライン診療にキャッシュレス対応していない保険がございます